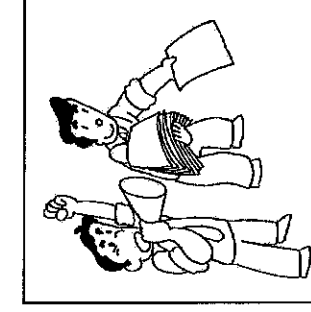


# 全国 検数労連

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
 福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール roren@kensu.jp  
 ホムページ http://www.kensu.jp/  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



6月3日(金) 第1回 検数労連22夏季一時金交渉 14:00~14:30

夏の一時金交渉スタート! 諸物価高騰から生活を守る『生活防衛闘争』と位置付け、全組合員で要求実現に向けて団結してガンバロー!

2022年6月3日  
2022夏季一時金要求書 (要旨)

2022年夏季一時金および諸労働条件の改善について、下記の通り要求いたします。

記

- 夏季一時金について
  - 要求方式と要求額について
    - ① 日 検  
(本給+家族手当) × 3.00ヶ月 + 一律10万円+都市加算とすること。
    - ② 全日検  
職員 A  
(本給+家族手当) × 3.00ヶ月 + 一律10万円+都市加算とすること。  
職員 B  
(本給+地域年齢) × 3.00ヶ月 + 一律10万円+都市加算とすること。
    - ③ 都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとすること。
    - ④ 職員以外の従業員は、職員に準じて支給すること。
  - 支給条件について
    - ① 長期病欠者に対して、各々の支給基準の70%を支給すること。
    - ② 通勤災害による休業者についても労災休業者と同じ取り扱いとすること。
    - ③ 一切の協会査定(特別評価)は行わないこと。
    - ④ 転勤者の取り扱いについては、計算期間中のそれぞれの支給区分に基づき日割計算、または6月1日現在所属地の地区区分いずれか有利な方を適用すること。
- 支給日について
  - ① 2022年7月8日(金) とすること。
- 諸要求について
  - ① 厚生年金保険料の労使負担割合の改善をはかること。
  - ② ワクチン接種の当日および翌日は『特別休暇』とすること。
- 国民的諸課題に対する態度表明
 

従業員の生活防衛と労働基本権を擁護し、平和な日本を守る立場から次のことについては反対すること。

  - ① 安本法制の発動について ② 憲法改悪について
  - ② 米軍辺野古基地建設について ④ 社会保障の改悪について

## 検数労連22夏季一時金要求書提出

6月3日(金) 第1回 検数労連22夏季一時金交渉を開催し、同協会に対し22夏季一時金要求書を提出しました。

### 【組合主張】

要求書提出にあたり組合は、5月25日~26日にかけて開催した『検数労連全国代表者会議』で、昨今の港湾情勢や現場で働く組合員の一時金にかかる思いなどを共有し、左記の通りの要求書を確立した。昨今、原油・原材料の高騰やロシア

のウクライナ侵攻などの影響を受け、諸物価が急激に高騰しており、現場で働く組合員からは夏季一時金への期待が高まっている。また、一時金は従来から『生活賃金の後払い』的な要素もあることから、各地域への業績を考慮した地域間格差の是正や廃止、一方的な『特別評価』の廃止を強く求める。同時に、それらの原資を乗率や一律などの本体部分に回すよう求める声が多く上がっていることから、要求に沿った回答を



示ることが求められる。いま、全産業的にも人材の確保が重要視されている。港湾でも人手不足解消に向け、政労使で『労働環境の整備に向けた施策』を遂行しているが、検数の職

場でも人材の確保が大きな課題となっている。

検数回協会においても雇用の主の責務として従業員の労働環境の整備と生活の安定を第一義に考えることが必要である。『人材への投資』を急ぎに置きながら要求に沿った一時金回答を構築することが求められる。そのことよって若手の離職を止め、安定した事業基盤の確立が出来るものと認識している。

また、諸要求として、22春闘から継続したものであるが、『ワクチン接種の当日および翌日は特別休暇とすること』を強く求める。

## 次回交渉

第2回 検数労連22夏季一時金交渉は事務局調整となります。